
バンビーノ・バンビーナ

mamacros

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バンビーン・バンビーナ

【Nコード】

N2986U

【作者名】

m a m a c r o s

【あらすじ】

s t a r r y s k y 一樹×月子 “ライオンズブルーの翼”

より転載

あいしてる 君に言っちゃおう Ciao!

愛しちゃいけないなんて、誰が決めた？

愛しても良いだろう？

想うは、自由だろう？

バンビーノ・バンビーナ

昼休み、いつの間にか眠りについてた俺を起こしたのは、愛する
月子の優しい手。

その感触に気付いて、目を覚まして、腕を引っ張って体を引き寄せ
れば、困ったような顔をして頬を真っ赤にしているお前が近くなっ
た。

「もう、一樹会長は……。」

ぼそり、不満を精一杯の勇気で必死に訴えるように呟かれる。

「良いだろ、1日に一度位。」

「もっと多いです!!それに、」

「それに?」

「急にそんなことされたら、心臓が持ちませんよ……。」

「良いじゃないか。俺がお前を愛してる証拠だ。」

「っ、一樹会長つてば……。」

「嫌いじゃないだろ?」

「……はい」

「月子が素直に同意してくれるなんて、珍しいな。」

「……だって、好きなんですもん。」

「ん？」

聞こえなかったふりして、訊いてやる。

だって、あまりにも嬉しかったから。

幸せで、幸せで。

仕方ないから、もう一度、

お前をギュツと抱き締めた。

「もう、一樹会長は……。」「

「こーら。何度言ったら直るんだ？」

「はい？」

「一樹さん、だろ？」

「“!!”」

「言わないなら、離してやらないぜ？」

「一樹さん、」

「何だ？」

「大好きです。」

一瞬、俺が目をみはったことに、こいつは気付いているのだろうか？

平静を装って、返答。

「良くできました。」

髪をわしゃわしゃと撫でて、おでこに不意打ち。

ちゅ。

「ん、ご馳走様。」

「もう、一樹会長……!!」

「ほらほら、そうじゃなくて?」

「っ……。…そんなにからかうと、……一樹さん、って呼ばなくなりますよ!!」

「それは残念。」

じゃあ一樹で良いぜ?

そう耳元で囁くと、月子は真っ赤になって、

「……………一樹さん、離して下さい。」

「んっ、残念。ちよつとそれは無理な相談だな。」

「もう、一樹さんはっ!!」

真っ赤になって、そっぽを向いて。

でもそんな所まで、可愛いと思ってしまうんだ。

だから離さない。

永遠にな。

駄目か?

「駄目じゃないです。」

「……!!!!」

「絶対、離さないで下さいよ?」

真っ赤になって、深呼吸して。

そんな、楽しいけど長い空白の時間の後に月子がくれたのは、

「……………一樹。」

幸せ。

正直さ、半分諦めてたんだぜ？

お前がこんなに真っ赤になってまで、一樹さん、って呼んでくれるだけで充分だと思ってたんだ。

けど、お前はいつも、その固定観念を良い意味で破ってくれるんだよな。

精一杯、真っ赤になって頑張ってたさ。

俺はどれだけ月子が好きなんだろうか。

もう銀河とか宇宙とか、そんなちっぽけな観念じゃ計り知れない程に膨れあがってる。

好きだ。

「好きだ。大好きだ。…愛してる。」

俺には、こんな陳腐でありふれた愛の言葉しか伝えられないけど。

「……………私も、です」

月子は真正面から受け止めて、返事をくれる。

ああ、幸せだ。

お前が、離さないで、って言うってくれるから、俺はここにいられるんだ。

愛しちゃいけないなんて、誰が決めた？

愛しても良いだろう？

想うは、自由だろう？

奇蹟が起きて、愛し合うことが出来るようになったなら、

愛し合うことだって、許されるだろう？

お前が許してくれたから、

ここにいるから。

離れないから。

許してくれて、

赦してくれて、

ありがとうな。

そのお返しは、

幸せで良いか？

(後書き)

イメージソング

田村ゆかり バンビーノ・バンビーナ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2986u/>

バンビーノ・バンビーナ

2011年10月9日08時14分発行